

AKITA CITY

就農

ガイドブック



園芸人生はじめよう！



10th
Anniversary

秋田市園芸振興センター

2015 ➤ 2025



秋田市園芸振興センターは 開設10周年を迎えました。

稲作依存から収益性の高い園芸作物を軸とした生産構造への転換を目指し、平成27年に開設した秋田市園芸振興センターは、今年10周年を迎えました。

園芸のプロ農家を目指す新規就農研修も開設と同時にスタートし、これまでの研修修了者は、計50名となっています。

この節目にあたり、研修修了者の中からロールモデルとなる10名をピックアップし、農業に興味を持った方が就農後の姿をイメージできるよう「就農ガイドブック」を発行しました。

農業は、食料を生産するという人が生きていくために欠くことのできない大切な職業です。

皆さんにとってこのガイドブックが、職業として農業を目指すきっかけとなれば幸いです。

さあ、あなたも「園芸人生」はじめてみませんか！

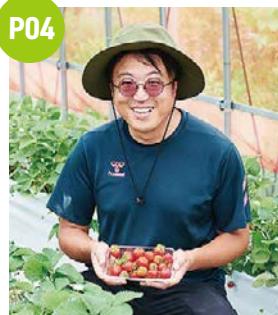
令和7年10月



CONTENTS



P03
菓子職人から農家に転身
周りに感謝する日々です
<BATA FARM>
柴田 秀俊さん



P04
IT企業からの転職
未来へ導くスマート農業
<STARSEED FARM>
進藤 智貴さん



P05
「求められる野菜」を目指して
日々挑戦しています
<SENTE>
沢田石 武瑠さん



P06
美容師のキャリア×農業で
可能性は無限大！
三浦 桐子さん



P07
空を見上げて作業をする
果樹農家に惹かれました
<一休農園>
島田 雄一郎さん



P08
自動車整備士から農業へ
トライ & エラーで切り開く
1年目
<しらたまグループ合同会社>
鈴木 豪さん



P09
野菜を育てて、地域を守る
ここが僕のフィールド
<杜の農園むしやり>
小泉 駿弥さん



P10
埼玉から秋田へ移住
第三者継承で始めた農業の道
<0246FARM>
西村 健一さん



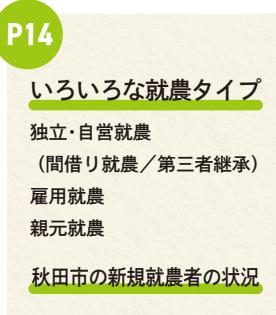
P11
秋田から全国へ
ダリアの魅力を届けたい
<農事組合法人平沢ファーム>
佐藤 珠実さん



P12
その日の仕事の成果がわかる
ことが農業の醍醐味
<農事組合法人アグリあいかわ>
田村 修也さん



P13
就農までのSTEP
STEP1 ライフプランの設計
STEP2 短期研修
STEP3 長期研修
STEP4 就農



P14
いろいろな就農タイプ
独立・自営就農
(間借り就農／第三者継承)
雇用就農
親元就農
秋田市の新規就農者の状況

独立・自営就農 タイプ

就農地:添川地区

BATA FARM

しばた ひでとし

柴田 秀俊さん

出身地 秋田市

経歴 商業高校

就職(製菓業や飲食店)

秋田市園芸振興センターで研修

就農8年目

主な作物



ナス



ミニトマト



ほうれん草



アスパラガス



菓子職人から農家に転身
周りに感謝する日々です

農業を目指したきっかけは?

10年近く製菓業でお菓子作りをしていましたが、その修業先で、いい素材を使った無添加のお菓子に出会い、素材を作ることに興味を持ち始めました。添加物を使ってきれいな物を作らなくても、体にいいもので、子どもにも安心して食べてもらえるものがいいなと思うようになりました。

農業は暑い日も寒い日も作業しなければならず、前職のお菓子作りも熱いオーブンの前で焼き上がりを待つ「釜番」があったり、冷蔵庫の中と同じような温度環境で生クリームを泡立てたりもします。労働時間の面でも通じるものがあるし、絶対に自分は農業にはまると思っていました。



しっとりした食感になるよう、水分管理に気をつけています

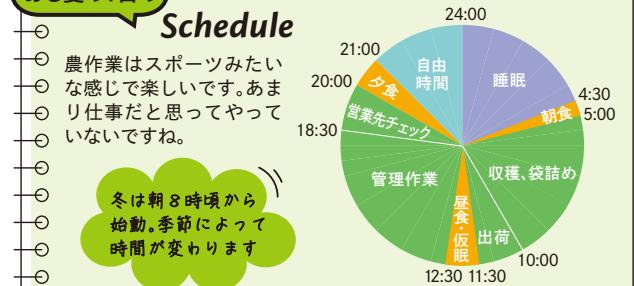
農業の魅力ややりがいは?

できた野菜を食べてもらって「おいしい」と言われたときが、間違いなく一番嬉しいです。がんばればがんばるだけ収入につながるので、時間や経験がすべて返ってくることにやりがいを感じています。

農業はひとりでは絶対にできない仕事なので、就農してからすごく人に感謝するようになりました。水路の管理作業なども隣で農業をしている方と一緒に行いますし、農地のお世話をしてくれた方、スーパーなどの売り場に関わる方、飲食店の方などもいろいろとアドバイスをくださいます。みなさんに助けられていることを実感していますね。

ある夏の1日の

Schedule



今まで大変だったことは?

やはり自然災害ですね。どんなに手をかけても、大雨が続いてパイプハウスが水に浸かると努力が水の泡になります。就農1年目には「青枯れ病」でミニトマトが全部枯れてしまい、ミニトマトの収入が10万円もいかないという経験もしました。野菜は種を播くと自然の力で勝手に育ってくれますが、災害や病気などに遭うと全部ダメになるのはキツいですね。土地に合う野菜・合わない野菜があることも、何年か経験してわかったことです。



ナスは、シンプルな油炒めに醤油をかけて食べるのがおすすめ



今後の目標
娘を継げるような農業スタイルを完成させる!

IT企業からの転職 未来へ導くスマート農業



農業を目指したきっかけは？

高校を卒業後、関東の大学の文学部に進学しました。在学中にIT企業を起業し、プログラミングやウェブ制作を学びながら経営を経験。その後、山形市で約20年間IT企業を運営し、顧客であった農家から「これからの農業はコンピューターを使ってやっていくようになる」と言われた言葉が強く心に残り、「いつか秋田に帰り、コンピューターを使った農業をやるのもいいな」と思うようになりました。後にそれが「スマート農業」と呼ばれることがわかり、現在の挑戦につながっています。コロナ禍を機に「秋田に戻り、スマート農業をやろう」と決意。園芸振興センターでイチゴのスマート農業を研修し、就農して3年目を迎えています。

今まで大変だったことは？

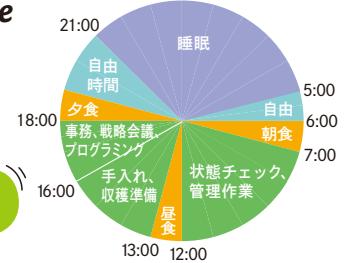
真夏のハウスは50度近くまで温度が上がり、体力的に過酷です。さらに無農薬栽培のため病害虫対策や管理の手間も大きく、従来の農業とは違うやり方に理解を得られないこともあります。室内でイチゴの栽培を行う「閉鎖環境のラボ」構想についても「コストに合わない」と言われることがありますが、それでも「当たり前の農業はやらない」と決めています。むしろ「驚かせてやろう。誰もやっていないことをやろう」という気持ちが原動力です。



ある夏の1日の

Schedule

- 母親と二人でハウス3棟を管理しています
- 今後の方針・経営戦略を立てて、実際にチャレンジしてみることが楽しみです



農業の魅力ややりがいは？

イチゴは冬春と夏秋で品種を組み合わせることで、一年を通して栽培できる作物です。販売は口コミで広がり、求めてくださる方に届けています。お客様に「おいしかったよ」と直接声をいただけることが、大きなやりがいです。

金足の湧水と無農薬で育てた、安心のイチゴ



AIを駆使して品質と効率を高める挑戦は、今までの経験を生かせる場もあります。今後は湧上市に店舗を構え、直売や6次産業に取り組む予定です。隣接する「閉鎖環境ラボ」では最先端のスマート水耕栽培を導入し、AIによる水やりや養分管理、自らプログラミングした仕組みを稼働させ、一年中イチゴを楽しめる環境を整えます。



今後の目標

スマート農業指導士としてスマート農業を普及させ、次世代へつなぐ

独立・自営就農 タイプ

就農地:四ツ小屋地区

SENTE

さわたいし たける

沢田石 武瑠さん

出身地 秋田市

経歴 普通高校

大学(農業系)

同大学大学院中退

秋田市園芸振興センターで研修

就農6年目

主な作物



九条ねぎ



ナス



えだまめ

「求められる野菜」を目指して
日々挑戦しています



農業を目指したきっかけは?

祖父母が農業をやっていて、自分は5代目なので、幼い頃から将来は継ぐのかなと思っていた。その後、高校時代に『戦略的農業経営』という書籍と出会い、農業でも全国にはさまざまな成功事例があると知って、その著者がいる大学で勉強したいと思い、進学しました。

大学ではマーケティングも学んだので『秋田でしか作れない野菜』を模索しながら、「SENTEの野菜が欲しい」と言っていたいただける商品作りを目指しています。自分が成功事例となって「農業をやってみたい」という人が増えたら嬉しいですね。

今まで大変だったことは?

毎年新しいことに挑戦していく、冬になるたび県外のトップランナーの農家へ修業を行っています。でも、新しいことを取り入れると失敗することもあります。異常気象の影響もありますし、野菜が病気になることもありますから。自然相手なので思うようにいかないこともたくさんありました。特に主力である九条ねぎはデリケートな野菜なので、年間を通して質・量ともに安定したものを供給していくことも課題のひとつです。

唯一無二の九条ねぎを作る!
という思いで栽培しています

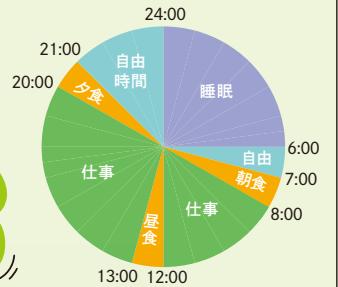


ある夏の1日の

Schedule

○ 日曜月曜休みが目標です。
○ 昼は必ず仮眠を取っています。

○ トレイルランニング、旅行が趣味。
○ 休日は県外に出かける
○ ことが多いです。
○ 冬は他県に修業に行きます!



農業の魅力ややりがいは?

最初は収穫・袋詰め・納品・品出しまでを行う「消化仕入れ」を行っていましたが、理解ある方々のおかげで今は「全量買い取り」をしていただいている。手がけた野菜を通じて名店と言われる飲食店のシェフやご主人とお話をさせていただることも、就農したからこそ。特に九条ねぎについては、「本場の京都のものよりもずっといい」とおっしゃっていただくこともあります。本当に「やってよかったな」と思います。食材や料理と真剣に向き合っている方に認めていただいたときの喜びは格別です。「農業ってこんなに大変で、こんなに楽しいんだ!」と思いますね。



「日本野菜ソムリエサミット」
で金賞を受賞した九条ねぎ



今後の目標

安定的経営をし、成功事例となって農業人口を増やす!

独立・自営就農 タイプ

就農地:河辺地区

みうら ひさこ
三浦 桐子さん

出身地 秋田市

経歴 工業高校
▼ 美容専門学校(盛岡市)
▼ 就職(美容師/
盛岡市・秋田市)
▼ 秋田市園芸振興センターで研修

就農5年目

主な作物



ダリア マイクロアスター

美容師のキャリア×農業で
可能性は無限大!

農業を目指したきっかけは?

美容師をしていたとき、担当した花嫁さんの髪飾りのお花が県外産のもので、新鮮さがなかったんですね。それなら私が就農して、鮮度がいいお花を結婚式で使ってもらおうと思いました。美容師は接客業なので精神的に疲れていて、「人生を仕事だけに捧げていいのか」という気持ちが大きくなっていた時期でもあったので、兼業農家の夫に相談し、義父が持っていた農地で県・市の戦略作物であるダリアを栽培することにしました。

また、最近の物価高や米騒動のニュースを見ていると、農業が一番強く、農業従事者は生きる力が強いように感じています。農業で作った花と、美容師としてのキャリアや技術をかけ合わせると、可能性が無限に広がりますし、自然と触れ合うことも、ひとりで黙々と作業をすることも私には向いているなと思っています。

今まで大変だったことは?

毎年、前年の反省を踏まえて栽培方法を模索していますが、高温と豪雨が続き、思ったように収穫できることですね。この5



自分で育てた花を使って、
ヘアメイクの仕事もしています

年間、パイプハウスも使って花を育てていますが、高温多湿の場合はハウスでも管理がうまくできません。特にダリアは高温に弱いので、収入も安定しないですし、それがやはり大変ですね。

農業の魅力ややりがいは?

最近はSNSでダリアの写真を投稿すると、100を超える「いいね」をいただくようになり、やってよかったなと思います。また、直売所でもけっこう売れるんですね。物価高が続いているなかでも花を買ってくださるのは、すごくありがたいなと思います。SNSで「こここの直売所で販売しています」と告知をしたら、それを見て購入し、メッセージをくれた方もいて感動しました。私しか育てていない品種は毎年注文をいただきますし、年1度行われる秋田県種苗交換会で、育てたダリアが入賞すると嬉しいですね。



この「NAMAHAGEオーブ」
は、私が作っている人気品種です!

ある夏の1日の Schedule



今後の目標
廃棄されるお花で
キャンドルなどの
加工品を作る!



独立・自営就農 タイプ

就農地: 河辺地区

一休農園

しまだ ゆういちろう

島田 雄一郎さん

出身地 東京都

経歴 普通高校(東京都)

大学(経済学部)

就職(飲食サービス業)

転職(漁業)

秋田市園芸振興センター/
秋田県農業公社で研修

就農7年目

主な作物



リンゴ



梨



桃

上小阿仁村出身
の妻・幹子さんと
共に農園経営に
奮闘中！



農業を目指したきっかけは？

私は東京出身で、以前は主に飲食サービスの経営をしている都内の会社で地区統括マネージャーをしていました。農業をやろうと思ったのは、自然に親しむ仕事をしたいという気持ちがずっとあったから。宮城県で3年ほど漁師も経験しましたが、父の急逝をきっかけに、母の故郷である秋田での就農を決意しました。果物や果樹園地の美しい景観が好きでしたし、空を見上げての作業に魅力を感じ、果樹農家を目指しました。

今まで大変だったことは？

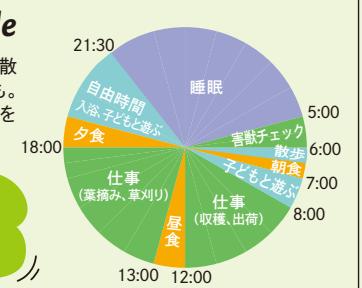
大変だったのは農地探しです。廃業予定の果樹農家さんから園地を引き継ぐ予定だったのですが、いざとなると、すべての農家さんから断られました。そこで、近隣の果樹農家さんで1年間びっしり研修を受け、周囲の農家さんからも信頼を得たことで、ようやく農地を貸してもらいました。果樹は苗木から苦労して育て、ようやく実をつけます。1本1本が自分の子どものような感覚なので、引き継いでくれるなら誰でもいいというわけではないんですね。果樹園は廃業時、基本的にすべての木を伐採しなくてはなりませんが、いい加減な人に任せるくらいなら全部伐採するという先輩農家さんの気持ちが、今ではよくわかります。

ある夏の1日の

Schedule

- 春秋が繁忙期、夏冬が閑散期で1月は丸々休むことも。
- 繁忙期も夫婦交代で休みを取ります。

閑散期は週休2日。
冬は息子ヒスキー
や雪遊びをします



農業の魅力ややりがいは？

農業は時間の支配権が自分にあるので、ストレスがないです。また、自分で作って自分で売って、「おいしい」というお声をお客様から直接いただけることは、やりがい以外のなにものでもないです。あまりリンゴを食べないお子さんが、うちのリンゴなら食べてくれるというご意見も嬉しいですね。独自の栽培方法を考える楽しみもあります。非常識とされていることも、やってみないとわからないですから。大谷翔平選手が「二刀流なんて不可能だ」と言われても成功したのと一緒にだなと思っています。

パリッとした食感を重視し、48時間以内の提供が目標



今後の目標

おいしく美しいリンゴを作り、地域貢献をする！



自動車整備士から農業へ トライ＆エラーで切り開く1年目

農業を目指したきっかけは？

会社を辞めて次のステージを考えたとき、これまで大切にしてきた「トライ＆エラー」を実践できるのは農業ではないかと思いました。自動車整備士として16年間働くなかで、効率化や改善を常に意識してきた経験を生かしたいと考えたのです。

しかし、自分には農業の土台がありませんでした。そんなときにJAの方から園芸振興センターの研修について教えていただき、参加を決意。ねぎ・えだまめ・メロンを中心に栽培を学びました。

研修を通じて、稻作を基盤に多様な作物を組み合わせる経営イメージを描くことができ、それが現在の基盤となっています。また、圃場整備事業が進む過程で扱い手の法人化が必要となり、研修2年目に法人を設立しました。

今まで大変だったことは？

就農してみると、計画通りに進まない現実に直面しました。天候によって作業が左右されることも多く、稻作に加えてねぎ・えだまめやメロンを並行するなかで、効率的な作業配分を常に考える必要があります。思い描いた通りに進まないからこそ、その都度工夫や改善を重ねることで新しい発見があり、柔軟に対応する力が養われていると感じています。

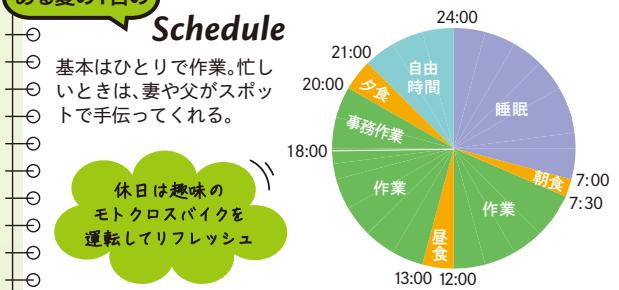
稻作を基盤とし、一年を通してねぎ・えだまめ・メロンに挑戦



ある夏の1日の

Schedule

- 基本はひとりで作業。忙しいときは、妻や父がスポットで手伝ってくれる。
- 休日は趣味のモトクロスバイクを運転してリフレッシュ



農業の魅力ややりがいは？

農業の魅力は、自ら計画を立て収穫までやり切り、その成果を振り返って次につなげられることです。「来年はこう改善しよう」「この機械を導入すれば効率的になるのではないか」と工夫を重ねる過程にやりがいを感じます。特に今年から挑戦したねぎは、これまでのところほぼ思い描いた通りに育っていて、大きな励みになっています。

さらに「信頼する仲間と共に、お客様の立場に立って価値ある製品を提供する」という経営理念を掲げ、挑戦と改善を繰り返しながら規模拡大を目指しています。失敗も含めて次の成長につながると考えられることが、農業を続ける原動力になっています。



6月から育てたねぎ。
イメージ通りに育ち、
10月に初出荷を迎える

今後の目標
直近の目標はサラリーマン時代の年収を超えること



独立・自営就農 タイプ

就農地：仁井田地区

しらたまグループ合同会社

すずき ごう
鈴木 豪 さん

出身地：秋田市

経歴：工業高校

就職（自動車整備士）

秋田市園芸振興センターで研修

就農1年目

主な作物



ねぎ えだまめ メロン 米

独立・自営就農

間借り就農

タイプ

就農地:上北手地区

杜の農園むしやり

こいづみ しゅんや

小泉 駿弥さん

出身地 秋田市

経歴 普通高校

大学(農学部)

秋田市園芸振興センターで研修

3年間雇用就農

就農5年目

主な作物



農業を目指したきっかけは?

私は非農家出身ですが、小中学校の授業で農家の高齢化など農業の現状を学び、「農家の仕事は大変だけれど、秋田の魅力のひとつだ」と感じたことが原点です。

高校卒業後は大学の農学部へ進学し、研究室での圃場実習や農作業を通じて「自分も農業をやってみたい」という思いが一層強まりました。家族に相談すると、誰も反対せず、むしろ背中を押してくれました。大学卒業後は「もっと学びたい」と秋田市園芸振興センターで2年間研修を受け、その後、四ツ小屋の農家に3年間雇用され、昨年ついに独立。現在は秋田市上北手の農業法人からパイプハウス等を借り、キュウリ・ナス・ニンニクを中心に栽培しています。

今まで大変だったことは?

独立初年度は、栽培から販売、経営まですべてをひとりで担うことの大変さを痛感しました。特に夏は収穫と管理作業が重なり、人手不足に悩まされました。

キュウリは時期をずらし、夏から秋まで長く栽培します

農業法人の稻作スケジュールに合わせてハウスを使うため、定植は6月と遅くなり、収穫や販売計画の調整にも苦労しました。それでも家族が手伝ってくれたり、

今年からは援農ボランティアを依頼して来てもらったり、多くの人に支えられていると感じています。

野菜を育てて、地域を守る
ここが僕のフィールド



ある夏の1日のスケジュール

- 夏は収穫に追われて忙しいですが、冬は作業が落ち着くのでゆっくり自分の時間が取れます。
- 休みの日は妻と一緒においしいものを食べに行きます



農業の魅力ややりがいは?

自分で作った野菜が直接お客様に届くことです。畑の一角では無人販売所も運営し、形の不揃いな野菜はお得意感を出して販売。直売を楽しみにしてくださる方も多く、求められている実感が励みになります。お客様の反応を見ながら、栽培や販売方法を工夫できるのも魅力です。食べることが大好きなので自分が食べておいしいと感じる味を大切にしています。

農業は地域に根付いた営みだと思うので、用水路掃除や草刈りなど地域全体の作業にも積極的に参加しています。農業が地域を守ることにつながると信じ、農業を通じて地域に貢献するとともに、農地の管理にも力を注いでいます。

パリッとみずみずしく、思わず食べたくなります



今後の目標

地域に根差した農家として、農地管理で地域を守る

埼玉から秋田へ移住 第三者継承で始めた農業の道



農業を目指したきっかけは？

美術大学を卒業後、インテリアデザイナーや家具塗装の仕事、海外を巡ったりなど、さまざまな経験を重ねてきました。結婚し子どもが生まれたことを機に、妻の故郷・秋田に移住することを決意。それに合わせて園芸振興センターでの研修を2年間受け、ミニトマトの育て方を習得しました。

1年目の研修修了が迫るなか、自分だけ就農地の目途が立っていませんでしたが、規模縮小を考えていた農家さんと出会い、第三者継承という形で農園を引き継ぐことになりました。園芸振興センターでは初のケースでした。今も先代が草刈りなどいろいろ手を貸してくれます。

今まで大変だったことは？

始めた当初は、期待と不安が入り混じる日々でした。初期投資が想定以上に膨らみ、金融機関からの融資予定があるとはいえ、先行きに不安を感じることもありました。

また、育てることは研修で身につけていましたが、販売には別の難しさがありました。他の農家があまり扱わないカラフルなミニトマトを栽培し、宝石のような彩りで差別化を狙ったものの、

高めの価格設定がなかなか受け入れられず、ニーズとのズレに気づきました。現在は価格を抑え、まずは味を知ってもらうことに力を入れています。「自分の売りたいもの」と「お客様が求めるもの」をどう結びつけるかが、今後の大きな課題です。

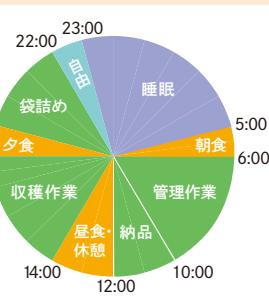
農業の魅力ややりがいは？

農業は、自分が育てたものが直接収益に代わる、わかりやすく手応えのある仕事です。「トマトの味には自信がある」と胸を張って販売し、直売所やイベントで「甘い」「おいしい」と声をかけられると、その自信が確信に変わります。

そして何より、会社員時代のように時間や働き方を細かく縛られないことが大きな魅力です。夏は暑く、朝が早くて辛い日もありますが、以前の職場で終電まで働いていた頃より「今のほうが人間らしい生活」だと感じています。

ある夏の1日の Schedule

- 夕方の収穫・袋詰め作業は妻と一緒に。夏休み中は小1の娘も一緒に畑に！
- 趣味は日本ではまだ珍しい植物を育てることです



赤以外に緑・黄の3色を栽培しています

今後の目標
夏しっかり働き、1月までに収入を確保して、冬は娘海外へ行くこと



独立・自営就農

第三者継承

タイプ

就農地：仁井田地区

0246FARM(ニシムファーム)

にしむら けんいち

西村 健一さん

出身地：埼玉県

経歴：普通高校(広島県)

大学(美術系)

就職(インテリアデザイン)

海外巡り

就職(家具塗装)

秋田市園芸振興センターで研修

就農1年目

主な作物



ミニトマト

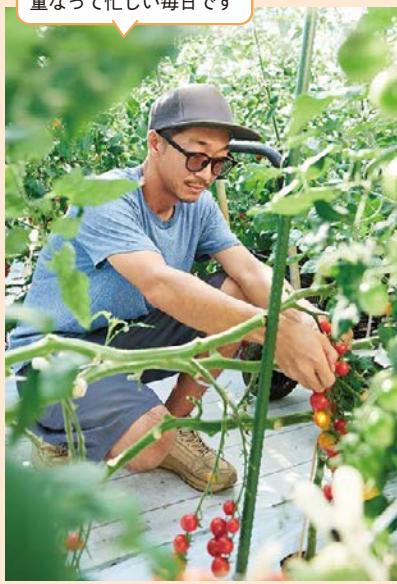


アスパラ菜



白菜

夏場は収穫と管理作業が重なって忙しい毎日です



雇用就農 タイプ

就農地：雄和地区

農事組合法人平沢ファーム

さとう たまみ
佐藤 珠実さん

出身地 秋田市

経歴 農業高校

3年間雇用就農（河辺）

秋田市園芸振興センターで研修

就農8年目

主な作物



農業を目指したきっかけは？

農業高校卒業後、河辺の農業法人に就職しました。そこで初めてダリアの栽培に携わり、華やかで多彩な花姿に強く惹かれました。在職中に園芸振興センターで短期研修を受けたのをきっかけに、もっとしっかり作物を作るための知識や技術を学びたいと考え、改めて同センターの研修に参加。2年間で経営や栽培の基礎を学び、ダリア以外の野菜や花の経験も積みました。修了後はダリア栽培を行う平沢ファームに就職し、現在も経験を生かして栽培に取り組んでいます。

今まで大変だったことは？

ダリアは気温や天候の影響を受けやすく、栽培管理が難しい作物です。夏場は温度が上がりすぎて生育が止まり、思うように花が育ちません。7月に出荷を計画しても、天候によって開花が前後し、予定通りに進まないこともあります。出荷時期は早朝からの作業が続くため、周囲からは大変に思われるかもしれません。今では

ひとつひとつ違う表情、個性豊かなダリア

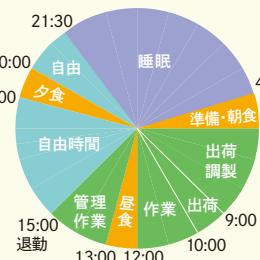


ある夏の1日の

Schedule

繁忙期は週に1日の休みですが、冬期間は週に3日休みが取れることもあります。

推しのライブに
出かけたり
プライベートも充実



一輪をよりきれいに咲かせるためのわき芽摘み

日常の一部となっています。繁忙期にはパートの方とふたりで力を合わせて作業を進めています。

農業の魅力ややりがいは？

ダリアの花が咲くまでは株を育て、わき芽摘みといった地道な作業の繰り返しです。しかし、つぼみが上がり花が咲いた瞬間に「今年もがんばった！」という気持ちになり、苦労が報われます。ダリアの魅力は、まず色や形の多様さにあります。大きく豪華な花もあれば、かわいらしい花もあります。同じ品種でも気温によって色合いが変わり、季節ごとに違った表情を見せてくれるのも魅力的です。切り花はJAを通して全国の市場に届けられ、秋田発のダリアは「NAMAHAGEダリア」として全国的にブランド化が

進められています。2021年の秋

田県種苗交換会では、私が栽培した「NAMAHAGEラブ」が農林水産大臣賞と秋田県知事賞を受賞しました。自分が育てた花が高く評価されたことは大きなやりがいにつながっています。

今後の目標

安定供給を目指し、秋田のダリアを多くの人に知ってもらう



就農までの STEP

STEP 1

ライフプランの設計(就農相談)

- ・農業をはじめるための基本情報の収集
- ・方向性の絞り込み
- ・栽培する作目(野菜・花きなど)
- ・就農する地域などを絞り込む
- ・将来計画の作成

なぜ農業をやりたいのですか?
農業をやる強い意志がありますか?

!?

STEP 2

短期研修

- 秋田市園芸農業チャレンジ研修
- 秋田型農業インターンシップ(秋田県農業公社)

農作業を実体験し、自身の農業適性を確認
就農の具現化

農業に関心のある方や、就農を考えている方を対象とした短期の研修です。
農作業体験などをとおして、就農を具体的にイメージします。

STEP 3

長期研修

栽培技術、経営知識の習得

- 秋田市新規就農研修
- 秋田アグリフロンティア育成研修(秋田県)
- ★生活資金支援 ▶就農準備資金
新規就農研修補助金
(交付金事業)

就農相談、短期研修を経て目指すことはっきりしたら、次のステップの長期研修に移行します。実践的な栽培技術研修や農家実習、先進地視察、農業簿記、営農計画書の作成など、様々なカリキュラムを通じて就農の準備が整えられます。

同時進行

就農準備

農地、施設・機械、資金の確保

- 農地** 条件の良い農地を見つける
(排水、土質、日照など)
- 施設** 作業小屋、資材倉庫、パイプハウス
- 機械** 自身の経営で必要な機械
- 資金** 資金調達方法(自己資金、補助金、融資)

STEP 4

就農

青年等就農計画を作成し、秋田市が認定することで認定新規就農者となる

- ★生活資金支援 ▶経営開始資金(交付金事業)
- ★機械等導入支援 ▶経営発展支援事業(補助事業)ほか
- ★営農開始支援 ▶青年等就農資金(貸付事業)

就農紹介

いろいろな就農タイプ

独立・自営就農 タイプ

自分で農業経営すること

農業での起業にあたり、品目選定から栽培、販売まで自身で考えて経営を行います。栽培技術の習得や資金の準備など責任が大きくなりますが、その分、自身の裁量で仕事をすることができます。

独立・自営就農 間借り就農 タイプ

農業法人等が所有する農地や施設・農機具などについて、使用していない時期やスペースを借りて農業経営すること

初期投資が少なく就農できるほか、農繁期にはお互いの農作業への協力体制を確立することで労働力を確保することができます。

独立・自営就農 第三者継承 タイプ

離農した農家の農地や施設、農機具などを引き継いで農業経営すること

初期投資が少なく就農できるメリットがありますが、古い農機具や施設を引き継ぐこともありますので、更新が必要になる場合もあります。

雇用就農 タイプ

農業法人などに就職すること

農業法人などへの就職は、農地や施設、農機具がない新規参入者にとって、初期投資などの負担が少なく、農業を始めやすい方法です。従業員として安定した収入を得ながら働くことができ、農業法人などによっては、営業や商品企画など、自身の経験や強みを活かして農業に関わることもできます。農業に関する技術と知識を身に着けて独立する方もいます。

親元就農 タイプ

親または家族・親族が行なっている農業経営体で農業をはじめること

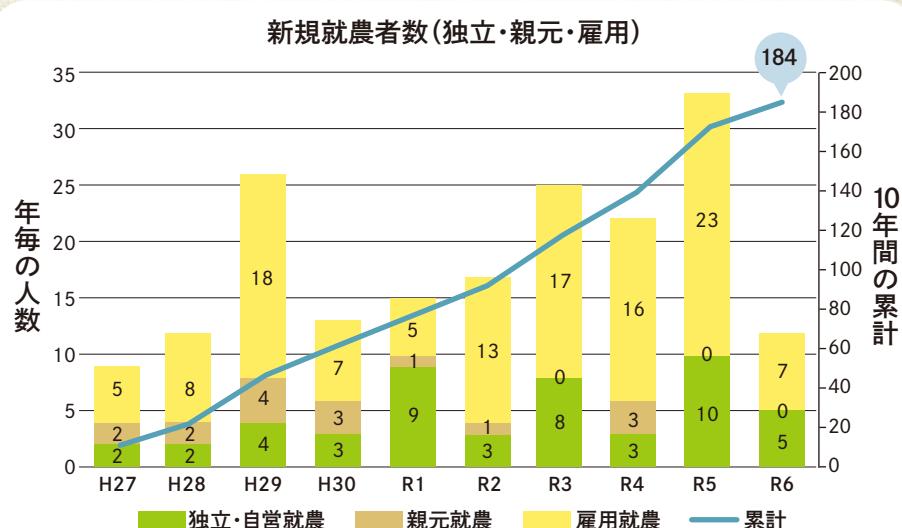
農業技術や経営について親や親族の指導の下で実践的に学び、将来的には事業を継承して、経営者としての役割を担うことになります。イチから農業に飛び込む新規参入者と異なり、農地、施設や農機具、代々培ってきた顧客や周囲の信用などをそのまま引き継げることが大きなメリットといえます。

秋田市の新規就農者の状況

秋田市内全体の平成27年から10年間の新規就農者数は184名。

このうち、独立・自営就農者は49名、親元就農者は16名、雇用就農者は119名です。

また、184名のうち園芸振興センターの新規就農研修修了者は50名で、このうち、独立・自営就農者は38名、雇用就農者は12名です。



秋田市の主な園芸作物

えだまめ

市内全域で栽培され、作付面積は95ha

主に首都圏へ出荷されていますが、「今朝採りたての枝豆」は早朝に収穫したえだまめを、午後には市内量販店で販売する取組です。



ねぎ

市内全域で栽培され、作付面積は19ha

3月下旬頃から定植され、夏ねぎ出荷前の「秋田わかまるねぎ」が6月下旬から7月上旬まで出荷されています。

夏ねぎ、秋冬ねぎは主に首都圏へ出荷されています。

秋田わかまるねぎ
トップセールスの様子



ダリア



NAMAHAGEシリーズが中心に栽培され、作付面積は3.9ha

地元の秋田国際ダリア園で育種した品種を、同じ気候のもとで栽培するため、花の発色が良いなど品種の特性を再現できるという特徴があり、年々需要は高まっています。



秋田市園芸振興センター

秋田県秋田市仁井田字小中島 111 番地 1

TEL.018-838-0278

E-mail ro-agpc@city.akita.lg.jp

